

平成28年1月19日
槻田小学校 保健室

3年生号

新しい年がスタートしました。去年の今頃は猛威をふるったインフルエンザですが、今のところ罹患者もなく、元気な子ども達の姿がみられています。

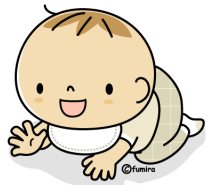
とはいえ、時期は冬本番。今シーズンは暖冬ですが、始業式頃から冬ならではの寒さがやっています。体調を崩さないよう、3学期も元気に過ごしましょう。



発育測定を行いました

あかちゃんの話

先日実施した発育測定後に、上記のテーマでお話をしました。おおまかな内容は以下のとおりです。



赤ちゃんはどこから来たのでしょうか？お母さんのおなかの中で10か月、いろんなことをしながら、その間にどんどん大きくなって、赤ちゃんは生まれてきました。



赤ちゃんがおなかの中にいるとき、お母さんは栄養のあるものを食べたり、転んだりしないように気をつけたりしながら、大事に大事に赤ちゃんを守りました。家族のみんなはお母さんをサポートしながら、大事に見守ってきて、赤ちゃんはこの世に誕生します。

生まれてからはどうでしょう？赤ちゃんは誰かがお世話しないと、1人では何もできません。

みなさんは、生まれる前から、生まれてきてからも、家族はもちろん、たくさんの人に守られて大きくなってきました。一人一人、みんな大事な子なのです。



50cm、3kgの赤ちゃん人形を、子どもたちに抱っこしてもらいました。

「重い」と感じた人、「意外と軽い」と感じた人、感想はそれぞれでした。中には、とても上手に抱っこできている人もいました。ただ、「ずっと抱っこしているのは大変」ということを多くの人が感じていたようです。

<子どもから大人へ>

子どもから大人になるには、外側だけでなく、中身も少しずつ変わってきます。赤ちゃんは、お父さんの赤ちゃんのもとと、お母さんの赤ちゃんのたまごがひとつになって、できるのです。みんなも、もう少し大人に近づいたら、男の子は赤ちゃんのもとが、女の子は赤ちゃんのたまごが作られるようになります。「いのちをつくる」大切なくみを、みんなの体はもっているのです。

自分はもちろん、友達も一人一人大事にここまで育ててもらってきました。みんな大切な命です。お互いを大事にし合いたいですね。

